

武蔵野書院

中世文学学会会員様向け特設サイト

2021年5月20日～6月末日

このサイトからのご注文に限り書籍を、
学会割引(税込定価の2割引) + 送料無料
にてご注文いただけます。

ご注文方法

1. **A** 書籍名をクリックする、**B** 書籍QRコードを読み取る、
C 最後のページの注文書で、FAXやメール等で注文する。
A～C のいずれかの方法でご注文ください。
2. **A・B** でご注文の際は中世文学学会会員である旨を明記ください。

お支払方法

1. ご注文いただいた書籍をお送りする際に同梱する、郵便振込用紙にてお支払ください（振込手数料小社負担）。銀行振込でも承りますが、その際は振込手数料をご負担いただきます。
2. 公費注文の場合、宛名・日付の有無・納品 / 見積 / 請求書の枚数をお知らせください。

***** ご注文・お問い合わせ先 *****

武蔵野書院

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11

TEL 03-3291-4859 FAX 03-3291-4839

e-mail: info@musashinoshoin.co.jp

高橋由記著

『平安文学の人物と史的世界—随筆・私家集・物語—』が、紫式部顕彰会の、第22回紫式部学術賞を受賞しました！
 昨年の第15回 第二次 関根賞に続く二度目の受賞です。
 高橋先生おめでとうございます！



平安文学の人物と史的世界

—随筆・私家集・物語— 並製版

高橋由記〔著〕

ISBN：978-4-8386-0747-1・本体 10000 円
A5 判並製カバー装・438 頁



平安文学に描かれた貴紳・後宮・女房の実像を、漢文記録類・諸家集の読み解きから探る粘り強い試み。『枕草子』や『榮花物語』が何を描き、何を描かなかったか、文学作品の特異な手法が見えて来る。漢文日記や名家秘蔵の家集類が一斉に公開、刊行、施注されてきた近年の学界状況に柔軟、貪欲に挑み、これまで空白だった後宮空間の歴史が豊かに再現される。

井上次夫 / 高木史人 / 東原伸明 / 山下太郎〔編〕

『次世代に伝えたい新しい古典—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて—』が、高知市文化振興事業団による、第31回高知出版学術賞を受賞しました！ おめでとうございます！

本書に対しては、「令和」の時代に継承すべき古典や作品、国語教育の方法などを解説し、古典世界への新しい入口を示し、その世界をのぞいてみたいという気持ちにさせてくれる良書である、との評価をいただきました。



次世代に伝えたい新しい古典

—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて—

井上次夫 / 高木史人 / 東原伸明 / 山下太郎〔編〕

ISBN：978-4-8386-0655-9・本体 2000 円
A5 判並製カバー装・272 頁



上代文学「古事記」から近代文学「土」までの日本文学、そして国語教育、日本文化に「令和」の視点からいま、新しい光を当てる。

危機下の中古文学 2020

久保朝孝〔編〕 発起人：神田龍身 / 福家俊幸 / 外山敦子

ISBN：978-4-8386-0744-0・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・648 頁



2020 年は、人類の生存に関わる自然と人為的な脅威が多発した危機下の一年として、いずれ回想されることになる。

そのような一年を、文学に関わる者としてどう過ごしたのか。中古文学研究という場において、この問いに対する回答を研究論文集として一書にまとめ、広く江湖に提示するものである。

最新刊



源氏物語を開く

専門を異にする国文学研究者による論考 54 編

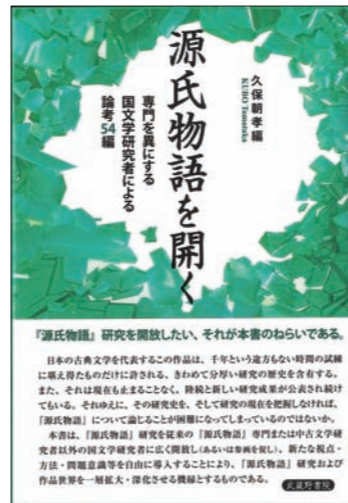
久保朝孝〔編〕

ISBN：978-4-8386-0746-4・本体 14000 円
A5 判上製カバー装・720 頁



『源氏物語』研究を開放したい、それが本書のねらいである。本書は、『源氏物語』研究を従来の『源氏物語』専門または中古文学研究者以外の国文学研究者に広く開放し（あるいは参画を促し）、新たな視点・方法・問題意識等を自由に導入することにより、その研究および作品世界を一層拡大・深化させる機縁とするものである。

最新刊



日本古典文学は、如何にして〈古典〉たりうるか？

—リベラル・アーツの可能性に向けて—

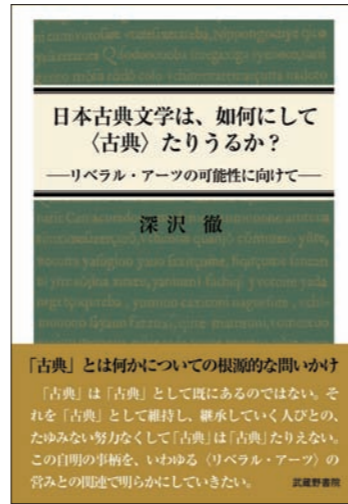
深沢 徹〔著〕

ISBN：978-4-8386-0493-7
四六判並製カバー装・276 頁・本体 3000 円



「古典」とは何かについての根源的な問いかけ。「古典」は「古典」として既にあるのではない。それを「古典」として維持し、継承していく人びとの、たゆみない努力なくして「古典」は「古典」たりえない。この自明の事柄を、いわゆる〈リベラル・アーツ〉の営みとの関連で明らかにしていきたい。

最新刊



法の水茎

—和歌とおはなしでひもとく仏教—

たかはししゅうじょう
高橋秀城〔著〕

ISBN：978-4-8386-0492-0・本体 3500 円
A5 判並製カバー装・452 頁



本書は、いにしへの和歌や説話など古典作品を手がかりに、仏教の奥深い教えに近づくことを目的として書かれたひとつの道しるべである。普濟寺住職である著者が、高尾山薬王院発行の『高尾山報』に、八年に亘って連載している『法の水茎』1～100 話をこの一冊に収録。悩み多き現代人に贈る、百話の心の処方箋。住職ならではの優しい語り口が、読者を仏の御心へと誘う。

最新刊





三稜の玻璃

—平安朝文学と漢詩文・仏典の影響研究—

中野方子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0745-7・本体 14000 円

A5 判上製カバー装・460 頁



三稜の玻璃（プリズム）を透過した白色光は、七色の彩となって現れる。古のことはも、三稜の玻璃を通して、これまでとは異なる始原の相貌をもって輝き出すのではないか。業平、貫之、友則、伊勢の和歌や、『伊勢物語』、『源氏物語』を中心とした平安朝文学と漢詩文、仏典という三面のジャンルが交叉し、交響し合う論文集。

最新刊



日本文学の原風景

田村由美子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0491-3

A5 判並製カバー装・364 頁・本体 3000 円



「旅」で訪れた現地の風景に、日本の古典文学作品の原風景を発見し、さらに著者の古典学習の原点である『源氏物語』についての気づきを独自の切り口と多様な視点から探究する。くわえて、これら古典文学の背景にある日本独特の文化を、アメリカ人に紹介した文化交流の実践記録としてまとめた。

最新刊



国語仮名表記史の研究

斎藤達哉〔著〕

ISBN：978-4-8386-0741-9

A5 判上製カバー装・420 頁・本体 12000 円



膨大な古典仮名資料の分析から日本語学の文字・表記史に挑む本書『国語仮名表記史の研究』は、仮名主体で表記された古典日本語の文章である「仮名資料」を調査対象として、日本語学の文字・表記史の分野に立脚した、「仮名資料の文字調査」、「語と用字との関係」、「字体認識と書写態度」の観点から四部構成で論じたものである。

最新刊



遁世文学論

りく ばん か
陸 晩霞〔著〕

ISBN：978-4-8386-0737-2

A5 判上製カバー装・470 頁・本体 12800 円



本書は「遁世文学」を一つの経路として、仏教ひいては思想と文学との関係解明に挑む。遁世の目的とは、遁世者像とは、中世的遁世観とは、その思想的土台となったものはなにか、という一連の問いに答える。そして、『方丈記』などの古典文学作品それぞれの個性と共通性を考察し、最終的には「遁世文学」とは如何なるものであったかを、作者の思想構造と表現世界との関連の研究を通して明らかにしたい。

最新刊



内侍所御神楽と歌謡

中本真人〔著〕

ISBN：978-4-8386-0739-6

A5 判上製カバー装・312 頁・本体 12000 円



内侍所御神楽は何故延引と追行を繰り返しながら継続したのか？
本書は、平安朝から南北朝期にかけての内侍所御神楽と其中でうたわれた神楽歌や周辺の儀礼を研究対象とした。本書に取めた論考は、おおむね時代順となっているので、内侍所御神楽の通時的な展開も追える。なぜ内侍所御神楽が継続できたのか、本書の先にある課題も見据えつつ、基礎的研究を示したいと考えている。

最新刊



王権と民の文学

—記紀の論理と万葉人の生き様—

飯泉健司〔著〕

ISBN：978-4-8386-0736-5

A5 判上製カバー装・448 頁・本体 12000 円



王権、民という二つの観点から文学をとらえる試み。
本書では、記紀の分析を通して王権の論理を、万葉集の分析を通して民の生き様を考察する。そのことによって、律令始動期という特殊な状況下で成立した八世紀の文学の在り方について考えてみたい。

最新刊



文献学の栞

高田信敬〔著〕

ISBN：978-4-8386-0738-9

A5 判上製カバー装・442 頁・本体 12000 円



本書では、源氏物語から江戸明治の文献を取り扱う。先学の記述にならって文献学中の二つの柱、文献の具体的吟味と文献の実際的使用を、第一部「典籍叢説」と第二部「訓詁注釈の試み」に振り分け、それぞれに有縁の考証を配した。国文学の研究者もまた、言葉の徒でなくてはならない。文献学の高い目標、少なくともその一つは、文献の適切な理解・歪みのない解釈にあるのではないか。

最新刊



文学としてのマンガ

山田利博〔著〕

ISBN：978-4-8386-0488-3・本体 2000 円

四六判並製カバー装・248 頁



文学とはなにか。それは「作者」が「想像力」によって「虚構の世界を作り」「思想」や「感情」を表現したものではないのか。絵であらわされているか、文字であらわされているかはさほど問題ではない。その証拠に、マンガは特に古典文学に通ずるところがある。マンガを読もう。あわせて古典などの文学も読もう。それがどちらもさらに面白く読むコツだといえよう。

最新刊



源氏物語生々流転 論考と資料

最新刊

著者架蔵の『源氏物語』関係の新出古筆切資料を多数掲載

池田和臣〔著〕 ISBN：978-4-8386-0729-7・本体 16000 円
A5 判上製カバー装・540 頁



仮名で物語を書くことには、どのような問題がはらまれていたのか。革新的で多様な方法、深い認識と思想、個性的な人間造型など、『源氏物語』の独自の世界形成はどのようにして獲得されたのか。『源氏物語』作者紫式部が、自らに先立つ文学的传统—仮名表記史あるいは文学史の状況—とどう向かい合い格闘したのかを、様々な側面から考える。



大和物語の達成

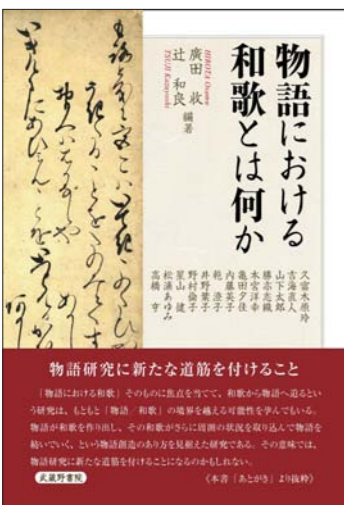
最新刊

—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価

東原伸明 山下太郎〔編著〕 ISBN：978-4-8386-0490-6・本体 3000 円
四六判上製カバー装・400 頁



大和物語は従来、伊勢物語と共に「歌物語」というジャンルで一括されてきた。しかし、その括りで一括することが、果たして適正であったか。脱構築し、「歌」じたいの位相を見極め、「散文」への方法性を模索することなど再検討の時機に来ている。本書は、大和物語のじたいの達成を見極め、再評価することを希求する。



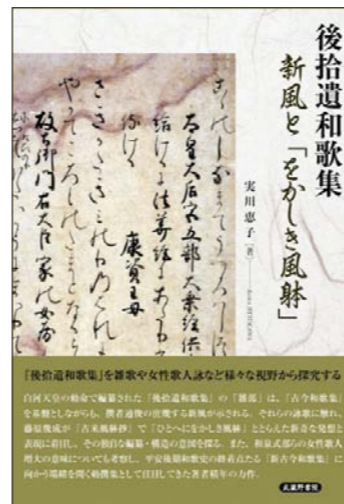
物語における和歌とは何か

最新刊

廣田 收 辻 和良〔編著〕 ISBN：978-4-8386-0734-1・本体 10000 円
A5 判上製カバー装・372 頁



「物語における和歌」そのものに焦点を当てて、和歌から物語へ迫るといふ研究は、もともと「物語／和歌」の境界を越える可能性を孕んでもいる。物語が和歌を作り出し、その和歌がさらに周囲の状況を取り込んで物語を紡いでいく、という物語創造のあり方を見据えた研究である。その意味では、物語研究に新たな道筋を付けることになるのかもしれない。



後拾遺和歌集 新風と「をかしき風躰」

最新刊

実川恵子〔著〕 ISBN：978-4-8386-0728-0・本体 8800 円
A5 判上製カバー装・220 頁



『後拾遺和歌集』の「雑部」は、『古今和歌集』を基盤としながらも、撰者通俊の庶幾する新風が示される。それらの詠歌に触れ、藤原俊成が『古来風躰抄』で「ひとへにをかしき風躰」ととらえた新奇な発想と表現に着目し、その独自の編纂・構造の意図を探る。また、和泉式部らの女性歌人増大の意味についても考察し、『新古今和歌集』に向かう端緒を開く勅撰集として注目してきた著者積年の力作。



更級日記 上洛の記千年

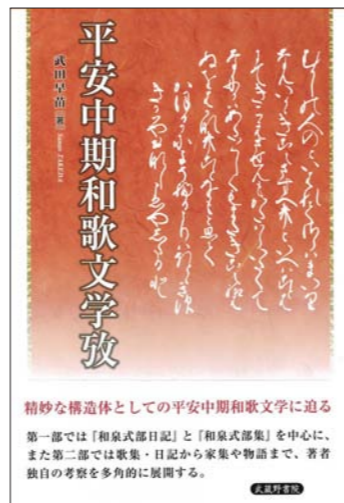
最新刊

—東国からの視座

和田律子 福家俊幸〔編〕 ISBN：978-4-8386-0731-0・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・438 頁



『更級日記』の作者、菅原孝標女が数えて13歳の寛仁4（1020）年に、東国上総より京へ上洛してから令和2（2020）年でちょうど千年。この機会に東国からの視座による論文集を企画。本論集は文学研究者のみならず、歴史学の研究者、房総古代道研究会のみなさんにもご登壇いただくなど、実に多士済々な執筆陣が、専門領域を超えて多角的な視座で論ずる。

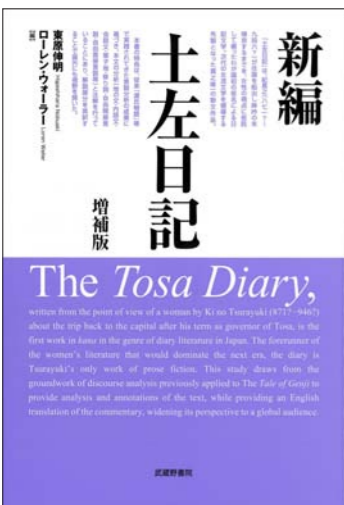


平安中期和歌文学攷

武田早苗〔著〕 ISBN：978-4-8386-0725-9・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・408 頁



第一部では『和泉式部日記』と『和泉式部集』を中心に、また第二部では歌集・日記から家集や物語まで、著者独自の考察を多角的に展開し、精妙な構造体としての平安中期和歌文学に迫る。



新編 土左日記 増補版

増補 重版

東原伸明 ローレン・ウォーラー〔編〕 ISBN：978-4-8386-0656-6・本体 1500 円
A5 判並製カバー装・144 頁



本書の特色は、従来『源氏物語』等で実践されてきた言説分析の成果に基づき、本文の分析（地の文・内話文・会話文・草子地・移り詞・自由間接言説・自由直接言説等）と注解を行っていることにあり、解説部分を英訳することで国外にも視野を開いた。増補版においては、参考文献を一部修正するとともに、大幅に増補した。



古韻琴声 余明 王昭君を奏でる (DVD)

七絃琴・琵琶 余明 企画・編集 上原作和 正道寺康子 JAN：4580549420010・本体 4000 円
日本国内専用 曲間を含む総収録時間 55 分 解説本 B 6 変型判 42 頁



琴は二五〇〇年の歴史を有し、「右書左琴」「知音」の故事や、孔子・諸葛孔明にまつわる音楽伝承で知られている。我が国の物語文学の主人公達もまた琴の名手であった。『うつほ』『源氏』に見える悲劇の漢女・王昭君にまつわる「胡笳の調べ」やその奏法、『狭衣』の「秋の調べ」。これらの琴曲を本邦初の映像化。余明の演奏でお届けする。

源氏物語における神祇信仰

韓 正美〔著〕

ISBN：978-4-8386-0289-6・本体 12500 円
A5 判上製カバー装・424 頁



本書の目指すところは、具体的な物語表現が生産される過程において、神祇信仰がどのような働きを担っているのかを問い、それによって物語表現がどのような独自性を獲得し、また、どのような主題性を物語に胚胎させることになったのかを究明することである。



くずし字で読む『百人一首一夕話』

城崎陽子 / 大内瑞恵
佐藤 瞳 / 渡部 修〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0652-8・本体 1800 円
A4 判並製本・134 頁



『百人一首一夕話』は、江戸時代後期の尾崎雅嘉による百人一首の注釈書です。百人一首を読み解きながら、近世期までに伝えられた歌人の伝記や逸話も学びつつ、くずし字学習本としての要素も盛り込みました。より深く、百人一首の世界や和歌文学の世界を学ぶことができるように工夫されたテキストです！

紫式部日記・集の新世界 既刊分も好評発売中！

知の遺産シリーズ⑦

ISBN：978-4-8386-0489-0・本体 3000 円

横井 孝 / 福家俊幸
久下裕利〔編〕

四六判上製カバー装・280 頁

⑥狭衣物語の新世界 ⑤宇治十帖の新世界 ④堤中納言物語の新世界



日本文学概論ノート 古典編

原 豊二〔著〕

ISBN：978-4-8386-0653-5・本体 1400 円
A5 判並製本・88 頁



この本は、著者が大学で講義をした内容を基とし、文学作品とどのように向き合うかということに重点を置き、「日本文学概論」「日本文学」「文学」などの大学の授業用の教材として執筆。半期の授業向けに構成は15回となっている。第1回目を除き、日本文学の形態、日本文学の理念、日本文学の研究、日本文学の課題といったグループに分けられ、効率的に学べるように工夫されたテキスト。

源氏物語の表現と絵画的展開

—夕霧を中心に—

青木慎一〔著〕

ISBN：978-4-8386-0720-4・本体 12000 円
A5 判上製カバー装・378 頁



子どもとその成長をめぐる表現を夕霧を中心に探る。子どもの詠む和歌、幼少期の通過儀礼といった微視的な『源氏物語』論は、光源氏の家や人物をめぐる虚構の物語生成論へと展開する。夕霧の物語をめぐる物語テキストと「源氏絵」との密接な関係が、物語の視覚化による巨視的な『源氏物語』享受史と解釈学に通じている。『源氏物語』テキストと「源氏絵」とが交響する新たな研究の書。



仮名文テキストとしての伊勢物語

近藤 さやか〔著〕

ISBN：978-4-8386-0715-0・本体 8500 円
A5 判上製カバー装・250 頁



『伊勢物語』の仮名に注目した意識と表現を考察し、有名章段—二条の後章段・東下り章段・斎宮章段・惟喬親王章段—だけではなく、これらの章段を中心に作品全体を通して読解できることを論じた。『伊勢物語』は和歌と仮名の可能性を広げた作品だという、文学史上の位置付けを示すことができれば幸いである。

兵部卿物語全釈

秋本吉徳
藤井由紀子〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0482-1・本体 3500 円
A5 判上製カバー装・148 頁



本書は慶應義塾図書館蔵本を底本とし、校合には、実践女子大学蔵本を用いて周到な校訂本文を提供。そこに平易なことば遣いを用いた読みやすい現代語訳と、物語をより深く読み解くための手引きとなる詳細で明快な注釈を付す。さらに「評」として物語の背景や章段ごとの設定が過不足無く解説されている。



源氏物語の記憶

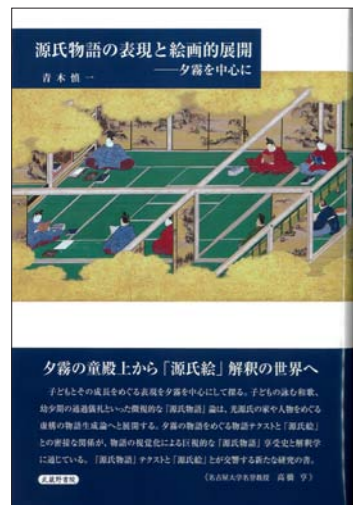
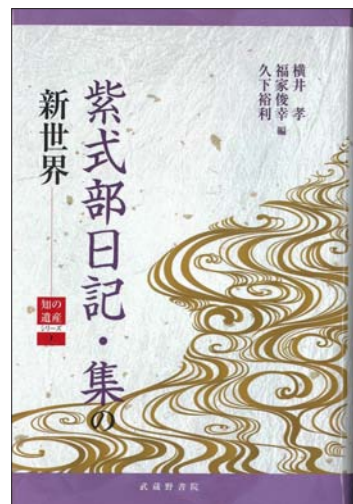
—時代との交差—

久下裕利〔著〕

ISBN：978-4-8386-0701-3・本体 14500 円
A5 判上製カバー装・624 頁



道長から頼通の時代へと引き継がれた政治・文化はサロン文芸を支える女房たちを和歌から物語へと躍動させた。時代背景は「いま」となり物語に蘇る。本書は源氏物語以後を時代の中で浮き彫りにした。編著から単著まで、精力的に出版活動を行い、真摯に研究と向き合ってきた著者の、過去12年の論文をまとめた研究論文集。



〈今・ここ〉に効く源氏物語のつぶやき

諏訪園 純〔著〕

ISBN：978-4-8386-0481-4・本体 1200 円

四六判並製カバー装・232 頁



物語や小説を読む中で、登場人物が何となく口にした言葉がいつまでも心に残ることがある。文脈と言う衣を取り去った後に残るむき出しの言葉の断片は、読者の生きる〈今・ここ〉に解き放たれて、ときに人を導き、ときに人を励ます。そんな源氏物語の「つぶやき」を一つひとつ抜き書きし、テーマごとに整理した本書は、もう一つの源氏物語像を提示する。

古代物語としての源氏物語

廣田 收〔著〕

ISBN：978-4-8386-0712-9・本体 11000 円

A5 判上製カバー装・368 頁



研究として『源氏物語』をどう読むかというとき、ただ単に恣意的な読みを披露し、散漫な感想を述べるだけでは共感は得られないであろう。なぜなら、私的な読みに思わず知らず現代的もしくは近代的な基準による解釈が紛れ込む可能性があるからだ。ここに私の立場表明がある。つまり『源氏物語』を「古代物語として読む」という立場である。

文学史としての源氏物語

廣田 收〔著〕

ISBN：978-4-8386-0276-6・本体 11000 円

A5 判上製カバー装・352 頁



わが国文学研究のめざすところは、まさに『源氏物語』がどのような仕掛けや仕組みによって構築された本文であるかを明らかにすることを目的とする。つまり『源氏物語』の本文そのものが「文学史としての『源氏物語』」であると捉えることに他ならない。ひとことで言えば、紫式部という存在を睨み据えつつ、『源氏物語』を基層と表層との重層性において捉えるという目論見である。

ものがたりたちの京都 京都文学入門

京都と文学研究会〔編〕

責任編集：須藤 圭

ISBN：978-4-8386-0484-5・本体 1500 円

四六判並製カバー装・228 頁



『記紀萬葉』から『けいおん』にいたるまで、ものがたりたちはどのような「京都」を描き出しているのか。人間と地域の関係が問い直されている今——専門的知見から、京都文学、ひろくは、地域文学を読むことの価値を解き明かす！

書籍名	価格	部数	公費・私費
平安文学の人物と史的世界—随筆・私家集・物語— 並製版	本体：10000 円+税	部	公費・私費
次世代に伝えたい新しい古典—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて	本体：2000 円+税	部	公費・私費
危機下の中古文学 2020	本体：11000 円+税	部	公費・私費
源氏物語を開く 専門を異にする国文学研究者による論考 54 編	本体：14000 円+税	部	公費・私費
日本古典文学は、如何にして〈古典〉たりうるか？—リベラル・アーツの可能性に向けて—	本体：3000 円+税	部	公費・私費
法の水莖—和歌とおはなしでひもとく仏教—	本体：3500 円+税	部	公費・私費
三稜の玻璃—平安朝文学と漢詩文・仏典の影響研究—	本体：14000 円+税	部	公費・私費
国語仮名表記史の研究	本体：12000 円+税	部	公費・私費
内侍所御神楽と歌謡	本体：12000 円+税	部	公費・私費
文献学の栞	本体：12000 円+税	部	公費・私費
日本文学の原風景	本体：3000 円+税	部	公費・私費
遁世文学論	本体：12800 円+税	部	公費・私費
王権と民の文学—記紀の論理と万葉人の生き様	本体：12000 円+税	部	公費・私費
文学としてのマンガ	本体：2000 円+税	部	公費・私費
源氏物語生々流転 論考と資料	本体：16000 円+税	部	公費・私費
物語における和歌とは何か	本体：10000 円+税	部	公費・私費
更級日記 上洛の記千年—東国からの視座	本体：11000 円+税	部	公費・私費
新編 土左日記 増補版	本体：1500 円+税	部	公費・私費
大和物語の達成—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価	本体：3000 円+税	部	公費・私費
後拾遺和歌集 新風と「をかしき風跡」	本体：8800 円+税	部	公費・私費
平安中期和歌文学攷	本体 11000 円+税	部	公費・私費
古韻琴声 余明 王昭君を奏でる (DVD)	本体：4000 円+税	部	公費・私費
源氏物語における神祇信仰	本体：12500 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑦ 紫式部日記・集の新世界	本体：3000 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑥ 狭衣物語の新世界	本体：3000 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑤ 宇治十帖の新世界	本体：3000 円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ④ 堤中納言物語の新世界	本体：3000 円+税	部	公費・私費
源氏物語の表現と絵画的展開—夕霧を中心に	本体：12000 円+税	部	公費・私費
兵部卿物語全釈	本体：3500 円+税	部	公費・私費
くずし字で読む『百人一首一夕話』	本体：1800 円+税	部	公費・私費
日本文学概論ノート 古典編	本体：1400 円+税	部	公費・私費
仮名文テキストとしての伊勢物語	本体：8500 円+税	部	公費・私費
源氏物語の記憶—時代との交差	本体：14500 円+税	部	公費・私費
〈今・ここ〉に効く源氏物語のつぶやき	本体：1200 円+税	部	公費・私費
古代物語としての源氏物語	本体：11000 円+税	部	公費・私費
文学史としての源氏物語	本体：11000 円+税	部	公費・私費
ものがたりたちの京都 京都文学入門	本体：1500 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体 円+税	部	公費・私費

ご注文者		公費の場合	
お名前 (フリガナ)	お電話番号	お宛名	
ご送付先 〒 _____		公費伝票類	
		日付有無	あり・なし
		納品書	通
		見積書	通
		請求書	通

